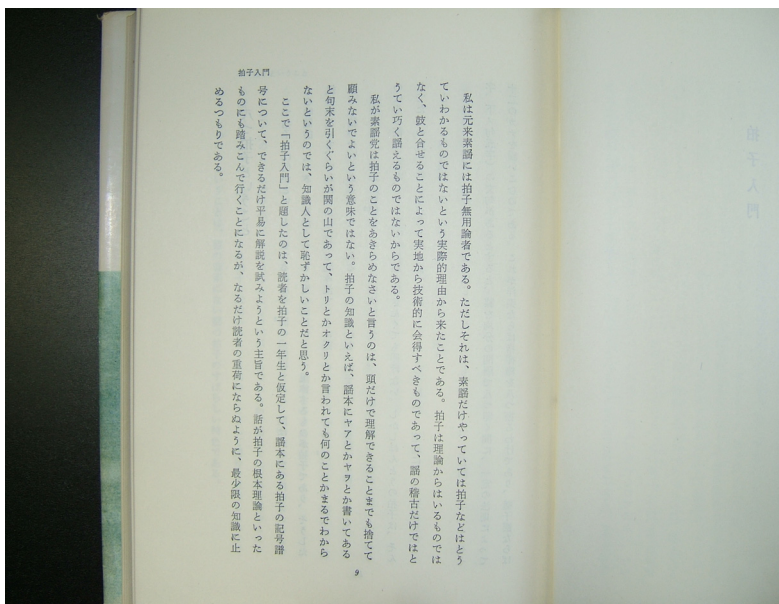
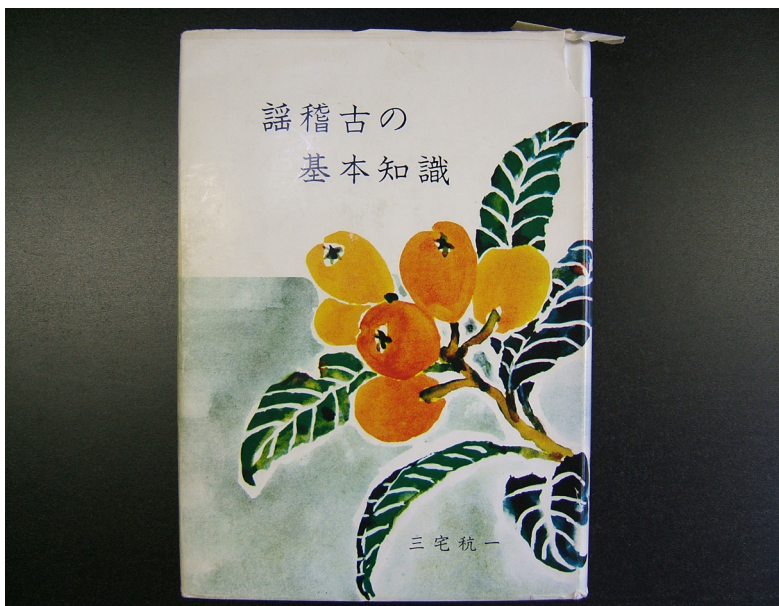


## 三宅 穂一 『謡稽古の基本知識』

「拍子入門」「調子、速度、その他」「曲の構成」「小段の謡い方」「曲趣の類別」の五章からなる。「拍子入門」の章(写真下)は「私は元来素謡には拍子無用論者である」と始まる。「素謡だけやっていては拍子などはとうていわかるものではない」という言葉は、長年、拍子教育家として闘った三宅氏の、率直な感想だろう。しかし氏は不屈だ。基本と運用という以前の枠組みを踏襲しつつ、謡い出し(打切)を紹介したり、「上下一連句」を紹介するなど、重要なポイントを外さない構成だ。



標題 内題：―

標題紙：謡稽古の基本知識

奥 附：謡稽古の基本知識

その他：謡稽古の基本知識(表紙・背)

著者 奥 附：三宅穂一

その他の場所：三宅穂一(標題紙・表紙・

背)

出版 版次：第一版

出版地：東京

出版社：檜書店

出版年：昭和58(1983)

その他の場所：―

形態 冊数：一冊 頁数：二三九頁

寸法：22×16(cm)

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考